

タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ゆきだるまをつくろう	小	グループ学習 低学年れんげ （図画工作）	重永将志 福西朝美 山本穂香 村江憲江 高下真央

<ねらい>

- ・変化する素材に直接手指で動きかけたり、感触を楽しんだりする。
- ・様々な描画材で描くあそびを楽しむ。

<内容>

雪に見立てたシュレッダーで細断された紙（シュレッダー紙）で遊んだ後、発泡スチロール玉やビニール袋、たんぽを使ってゆきだるまを作ったり描いたりしました。

1. 雪で遊ぼう

シュレッダー紙を雪に見立て、自分で巻き上げたり、教師に降らせてもらったり、全身でかぶったりして粗大あそびをしました。



2. ゆきだるまをつくろう

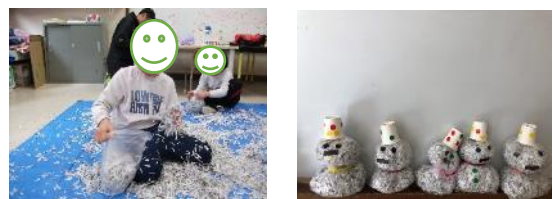
(1) 発泡スチロール玉を使ってつくろう

両面テープが付いた発泡スチロール玉をシュレッダー紙の上で転がし、大小2つの雪玉をつくりました。雪玉をつまようじでつなぎ合わせ、目と口のシールを貼り、完成させました。



(2) ビニール袋を使ってつくろう

ビニール袋にシュレッダー紙を入れ、袋の口をくくった後、袋の真ん中をモールで縛りました。帽子に見立てた紙コップにカラーシールを貼って飾り付け、ゆきだるまに被らせ、目と口のシールを貼りました。



(3) たんぽを使ってつくろう

黒色の画用紙に型紙を置き、たんぽを使ってゆきだるまを描きました。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）>

- ・初めにシュレッダー紙を使っていっぱい遊ぶことで活動に気持ちを向けやすかった。
- ・あそびの場とつくる場が一緒になりがちなので、うまく分けることが望ましい。